

第6学年 外国語科学習指導案

1 単元名

” Unit 3 Let's go to Italy.”

2 単元の見直し

- ～ is …., You can ～., It's ～.およびその関連語句などについて、理解している。また、行ってみたいおすすめの国や地域と、その理由などについて、～ is …., You can ～., It's ～.およびその関連語句などを用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりする技能を身につけることができる。(知識・技能)
- 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、行ってみたいおすすめの国や地域と、その理由などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりして、最適な伝え方を工夫している。(思考・判断・表現)
- 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、行ってみたいおすすめの国や地域と、その理由などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元構成の意図

本学級の児童の多くは、外国語科の学習に楽しく参加している。昨年度からの学習経験から、「伝えたい」「もっと話したい」という思いをもち、ALT や担任に英語での表現方法を積極的に質問し、表現しようとする児童もいる。一方で、恥ずかしさや照れ、自信のなさからなかなか声に出して表現するまでは至っていない児童もいる。

本単元では、自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、行ってみたいおすすめの国や地域と、その理由について、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることをねらいとしている。また、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。

指導にあたっては、本単元のゴールを「旅行会社に行って自分の行きたい国のツアープランを作る」と設定し、単元全体の見直しをもって学習に取り組むことができるようにする。全員が旅行会社のプランナー役になり、「おすすめの本国のリーフレット」を作る。客役になったときには、リーフレットを参考にして自分のツアープランを作る。そのために、これまでに慣れ親しんできた表現について音声を聞いたり、やり取りをしたりして定着をはかっていきたい。ツアープランを作成するという必然性のある活動場面を設定することで、必要な表現を理解したり、身につけたりすることに夢中になって活動していくのではないかと考える。さらに、ペア、グループ活動を取り入れ、他教科と同様、外国語科においても表現方法のアドバイスをするなど、助け合って一緒に活動し、互いに学び合うよさを実感できるようにしていきたい。

4 単元の計画 (総時数8時間)

時	場面	学習活動 (夢中になって学んでいる姿)	資質・能力
1	音に出会う Starting Out	単元のゴールを知るとともに、世界の有名な建物や食べ物などについて言ったり、音声や映像から分かったことを発表したりする。	世界の有名な建物や食べ物などについて、短い話の概要を捉えようとしている。(主)
2			～ is …., You can ～., It's ～.およびその関連語句などについて理解することができる。(知・技)
3	会話に慣れる Your Turn	「国」や「食べ物」の言い方を練習し、おすすめの本国や地域と、その理由についてたずね合う。	Why do you like ~?, You can ～., It's ～.およびその関連語句などについて理解することができる。(知・技)
4		社会科の地図帳やタブレットなどをもとに行ってみたいおすすめの本国の有名なものを調べ、おすすめの本国の理由をたずね合う。	行ってみたいおすすめの本国や地域と、その理由について、お互いの考えや気持ちを表すことができる。(思・判・表)
5 6 本時	コミュニケーションを楽しむ Enjoy Communi- cation	「おすすめの本国のリーフレット」を作って、その国でしたいことを伝えながらやり取りをする。	行ってみたいおすすめの本国や地域とそこでしたいことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。(思・判・表)
7		「自分の行きたい国のツアープラン」を作る(誘う)ために、行きたい国でできることを発表したりたずねたりする。	行ってみたいおすすめの本国や地域とその理由について、簡単な語句や表現を用いて、お互いの考えや気持ちを話すことができる。(思・判・表)
8	世界を広げる Over the Horizon	知っている日本の世界遺産や、行ってみたい世界遺産について発表する。	世界遺産について、簡単な語句や表現を用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合おうとしている。(主)



単元を通して育成したい子どもの姿

「おすすめの本国のリーフレット」を作って友達に話したり、その理由を伝え合ったりする活動を通して、自分のことを伝え、相手のことをよく知り、互いに学び合うよさを実感する姿

5 本時のねらい

行ってみたいおすすめの国や地域とそこでしたいことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。(思・判・表)


6 学習過程

	学習活動・内容 (T 主な発問・C 児童の反応)	時間	○指導上の留意点 ◎研究主題に迫る手立て ◇評価
課題設定	<p>1 あいさつをする。 【Let's sing】 I want to go to Italy. ・ Let's sing に合わせて歌う。 【Small Talk】 What do you want to eat? ・ 教師と ALT のモデル会話を聞く。</p> <p>2 本時のめあてをとらえる。 T 行きたい国の聞き方と答え方は? C Where do you want to go? I want to go to ○○. T 振り返りカードに書いていたことを発表してください。 C 友達の言ったことについて、リアクションもしたい。 行きたい国でしたいことを伝えるために、どんなやり取りをすればよいだらう。</p>	10 5	<p>○既習表現を使い体調、日付などについて英語でやり取りをする。 ○単元で使用される言語材料が網羅された歌を歌い、本時への学習への導入とする。</p> <p>◎振り返りカードや掲示物から、前時までの学習を想起したり、本時の学習内容に関わる児童の思いを取り上げたりして、本時のめあてにつなげる。</p>
課題解決	<p>3 行きたい国インタビュー①を行う。 (1) 行きたい国でしたいことの尋ね方、言い方を知る。 (2) 行きたい国インタビュー①を行う。 T 今日は、友達に行きたい国や行きたい国でしたいことをインタビューします。 前の時間までに学習した表現を使って、インタビューをしてみましょう。</p> <p>C 1・C 2 Hello. C 1 Where do you want to go? C 2 I want to go to ○○. C 1 What do you want to do? C 2 I want to see (eat) ○○. C 1・C 2 Thank you. Bye.</p> <p>T うまく伝えられましたか。どうすれば分かりやすく伝えられるでしょう。 C クリア ボイスで言うといい。 C 相手の目を見て言うといい。 C 相づちを打つといい。</p> <p>4 会話の質・量を高めた行きたい国インタビュー②を行う。 T ○○さんのやり取りを見てみましょう。 C リアクションをしていた。 C 聞き返していた。 C It's ~. と付け加えていた。 T よかったところを参考にして、みんなもやり取りしましょう。</p>	5 5 5 10	<p>○表現に自信のない児童でも視覚的に確認できるように、色カードを使って、行きたい理由についての尋ね方や言い方を示す。</p> <p>◎前時までに学習した表現を使ってインタビューし、自分たちの行ったやり取りについて、振り返るようにする。</p> <p>○リーフレット作りで調べたおすすめの本国の食べ物や場所を伝えることで、見たいものや食べたい物の言い方に慣れるようにする。</p> <p>◎相手に分かりやすく伝えるための視点を子どもたちと考え、次のやり取りに生かすことができるようにする。</p> <p>◎友達の表現のよさを取れ入れ、自分の表現を修正・付加・発展させることができるようにする。 ◇行ってみたいおすすめの本国や地域とそこでしたいことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができたか。(行動観察)</p>
振り返り	<p>5 本時のまとめをする。 ・ まとめ What do you want to do? I want to see (eat) ○○. ・ 振り返りカードの記入</p> <p>T 「何がきっかけで自分の表現が変わったか」「何が分かったか」「次はどうなりたいか」など、振り返って書こう。 T 友達の「振り返り」を見に行き、いいところやまねしたいところに付箋を貼ろう。 C 「次は○○さんのように書こう！」</p>	5	<p>○振り返りカードを活用し、自分や友達の学習のよさを振り返ることができるようにする。</p> <p>◎学びのねらいに対する振り返りを書くことができるよう、振り返りの視点を示し、焦点化して書くことができるようにする。 ◎友達の振り返りの言葉を見ることで、次時からの振り返りの質を高められるようにする。</p>

7 板書計画

㊦ 行きたい国でしたいことを伝えるために、どんなやり取りをすればよいただろう。

Q1


Where do you want to  ?

I want to   .


ツアーリーフレット

Q2

What do you want to ?
do ?

I want to  .

I want to  .

I want to  .